

保健体育科 学習指導案

日 時 令和7年12月12日（金）4校時

場 所 紋別市立紋別中学校 体育館

生 徒 2年B組 33名

授業者 教諭 能藤 汎我

1 単元名 球技「ゴール型 バスケットボール」

2 単元の指導計画

(1) 単元の目標と評価規準

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
目標	・バスケットボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開することができるようとする。	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようとする。	・バスケットボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること、仲間の学習を援助しようとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。

(2) 単元の指導計画

【単元課題】集団対集団での攻防で重要なこととは何だろう。

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
E 球技 「ゴール型 バスケットボール」			
単元の目標			
【知識及び技能】 ・次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行き方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開することができるようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・バスケットボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること、仲間の学習を援助しようすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。	【知識】 ①集団対集団、個人対個人で攻防を展開する等の運動の特性や成り立ちについて、言ったり、書き出したりしている。 ②技術の名称や身に付けるためのポイントについて学習した具体例を挙げている。 【技能】 ①パスを受けるために、ゴール前の空いている場所に動くことができる。 ②ゴール方向に守備者がいない位置でシュートを打つことができる。	①提示された動きのポイントやつまづきの事例を参考に、仲間の課題や出来栄えを伝えている。 ②課題の合理的な解決に向けて自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ③体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームの方法を見付け、仲間に伝えている。	①課題解決に向けて、球技の学習に積極的に参加しようとしている。 ②作戦や戦術を決める話し合いに参加しようとしている。 ③ルールやマナーを守り、健康・安全に留意することができている。

○ 指導と評価の計画

時	1	2	3	4	5(本時)	6	7	8
ねらい	バスケットボールの特性、歴史、ルール、基本的なボール操作(パス、シュート、ドリブル)を身につける	守備者がいない位置でのシュート(ドリブルシュート)を身につける	空間にいる味方へのパスや空間へ走りこむ動きを身につける	自分で選択した練習やゲームの方法を見つける	提示された動きのポイントやつまづきの事例を伝える	課題解決に向けて自己やチームの課題に応じた練習に取り組んでいる	課題解決に向けて取り組んだ技能や与えられた課題の作戦や戦術を用いて実践する	
学習の流れ	O ○オリエンテーション ・バスケットボールの特性 ・安全に行うためのルール ・授業の進め方 ○基本的なボール操作(ドリブル) ・片手ドリブル ・両手ドリブル ・低いドリブル ・ランニングドリブル ○基本的なボール操作(パス) ・チェストパス ・バウンドパス ○基本的なボール操作(シュート) ・ゴール下のシュート ・ゴールから離れた位置でのシュート ○試しの簡単なミニゲーム ・ルール変更	集合・整列・挨拶・前時の振り返り・本時の内容確認 ボール慣れ運動(簡単なハンドリング)	○前時の復習(レイアップシュート) ○空間へ走り込む動き ○ランニングパス ・ノーバウンドパス ・ワンバウンドパス ○ランニングドリブル ・レイアップシュート ○課題把握&共有&交流 ・参考動画との比較 ・仲間からのアドバイス	○課題把握&練習の選択 ・基本的なパス操作 ・ドリブルシュート ・空間へ走り込む動き ○ランニングパス ・ノーバウンドパス ・ワンバウンドパス ○ランニングドリブル ・レイアップシュート ○課題把握&共有&交流 ・参考動画との比較 ・仲間からのアドバイス	○課題把握&課題練習 ・パス操作 ・ドリブルシュート ・空間に入り込む動き ▲動画撮影 ○実践ゲーム ○成果の交流	○前時のゲーム動画確認 ・チームの課題を追求 ○練習の選択 ○実践に近づけたゲーム ・課題の共有 ▲動画撮影	○自己課題の確認 ○チーム目標の共有 ○ゲーム① ・基本的なルールの再確認 ・チームでの役割分担 ○チームの課題把握 ・次回に向けての改善点を確認	○自己課題の確認 ○チーム目標の共有 ○ゲーム② ・基本的なルールの再確認 ・チームでの役割分担 ○チームの反省 ○次年度に向けて
評価計画	知識技能 思考判断表現 主体的に学習に取り組む態度	知① 観察 知② 技① 観察 主③ 観察	技② 観察 思② 記述 主① 観察	思① 記述 思③ 記述 主② 観察				総括的評価

4 本時の計画

(1) 本時の目標

・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えることができるようとする。

(2) 本時の展開

	○学習内容、主な学習活動 ●教師の働きかけ	留意点・準備物・手立て ★校内研修との関わり
導入	○ウォーミングアップ（リズムジャンプトレーニング） ●BGM をかけて進める ○挨拶 ○前時の振り返り ●モニターで集計の結果と成果を確認する ○課題把握	★ICT ・ Google Form での課題集計
展開	課題：仲間の動きをほめたり改善点を伝えるために必要なことは何だろうか。 ○課題の共有 ●自分自身の課題練習に向けて、提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、改善点を投稿 ○関節まわりの体操 ○自己の選択した課題に応じた練習 ① パス操作 ② ドリブルシュート ③ 空間に入り込む動き ○動画の撮影、投稿 ○ゲームで実践	★ICT ・ Padlet を活用した思考や掲示物の共有（指導に生かす評価） ★学びの選択 ・ 自分の技能レベルでの練習を選択させる。 ・ 自己の課題に応じた練習場所への移動及び練習を指示する。 ・ 特に努力を要する生徒への声掛けやアドバイスを重視する。 ★ICT ・ 成果動画を撮影し、投稿する。
終末	○成果の共有 ●仲間の投稿についてのコメント まとめ：仲間の動きをほめたり、改善点を伝える時は、動きのポイントやつまずきの事例などを添えて伝えること。 ○挨拶	・ 仲間に伝えている内容を 2 つ程ピックアップする。 ・ コメントの方法について簡潔になりすぎないように説明する。

(3) 課題の提出、評価

○課題の提出方法

- ・情報共有ツール Padlet

○評価内容

A：仲間の課題や出来映えを ポイントやつまずきの事例を添えるだけでなく、動きを交えるなどわかりやすく他者に伝えている。

B：仲間の課題や出来映えをポイントやつまずきの事例を添えて他者に伝えている。

C：仲間の課題や出来映えだけを他者に伝えている。